

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

宮崎県日南市 日南市立中部病院

| 法適用区分  | 業種名・事業名 | 病院区分    | 類似区分         | 管理者の情報     |
|--------|---------|---------|--------------|------------|
| 当然財務   | 病院事業    | 一般病院    | 50床以上～100床未満 | 非設置        |
| 経営形態   | 診療科数    | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1    | 指定病院の状況 ※2 |
| 直営     | 9       | -       | ド訓           | 救          |
| 人口（人）  | 建物面積（㎡） | 不採算地区病院 | 不採算地区中核病院    | 看護配置       |
| 51,878 | 7,377   | 第2種該当   | -            | 10:1       |

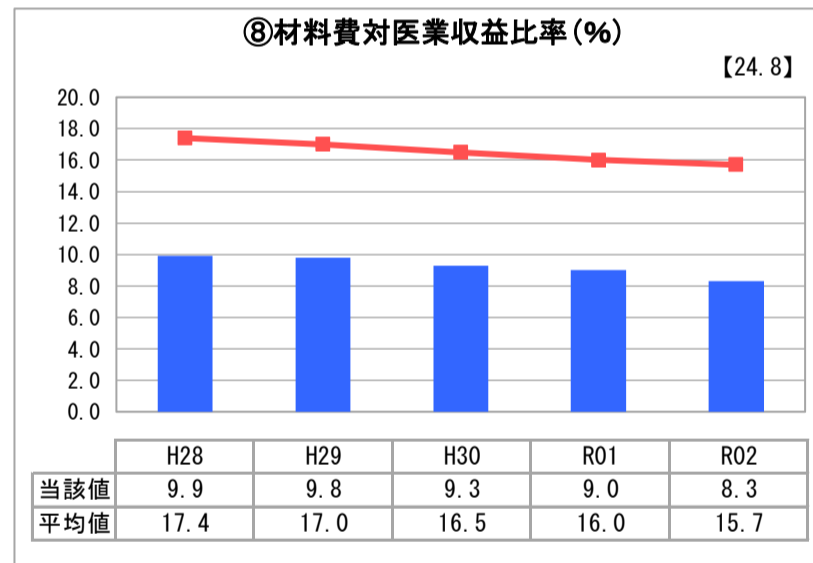
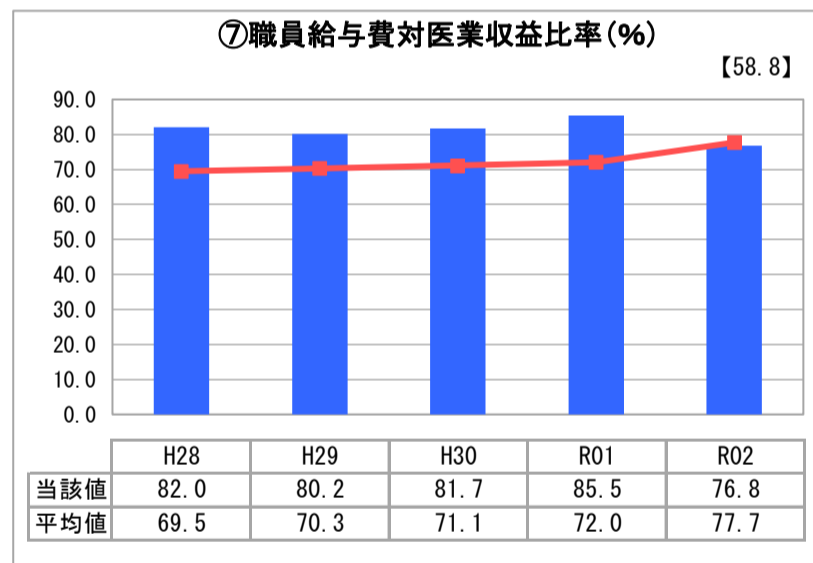
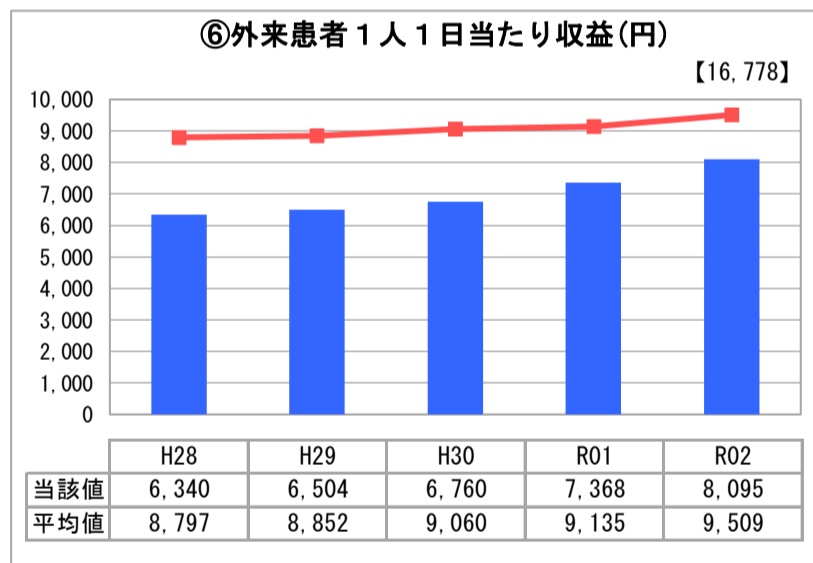
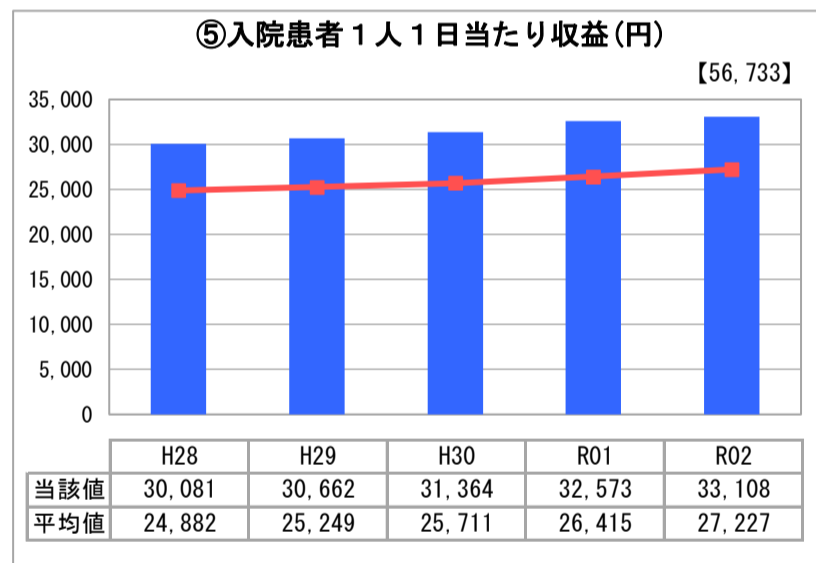
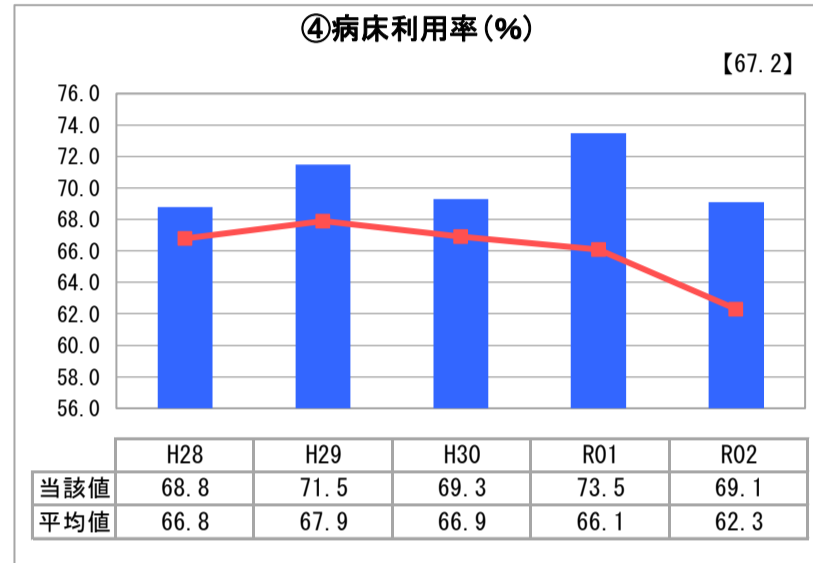
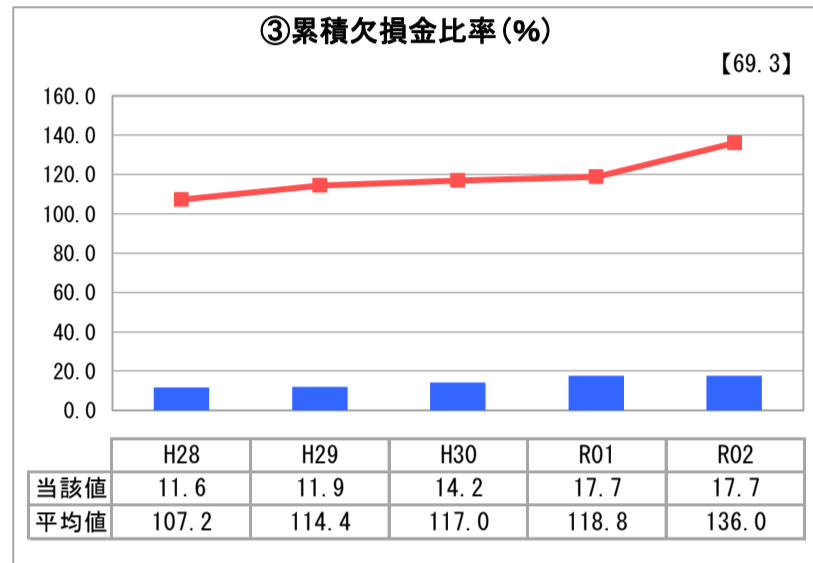
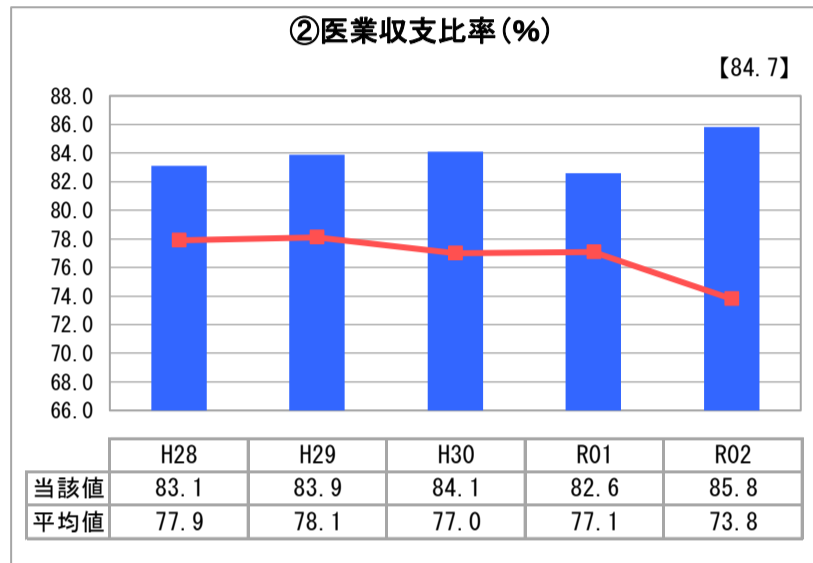
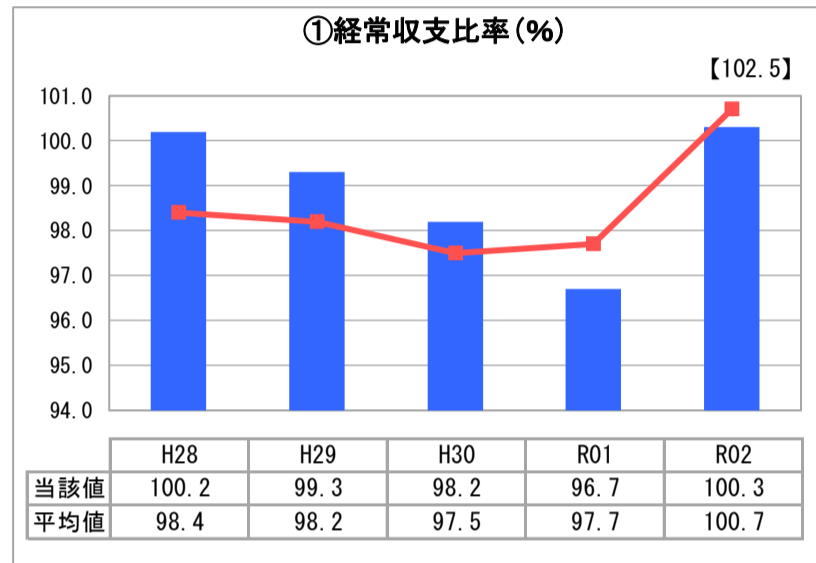
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

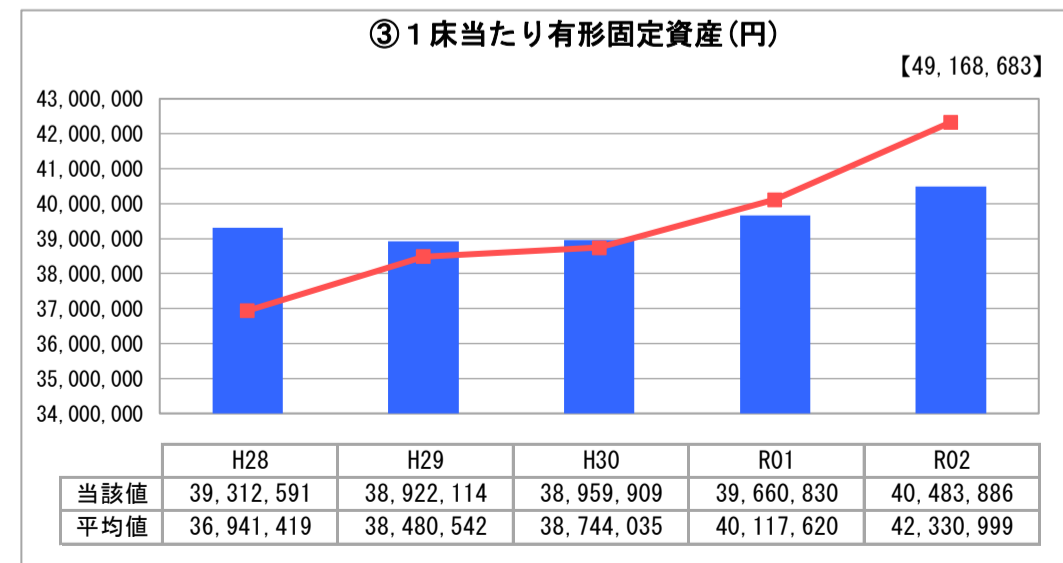
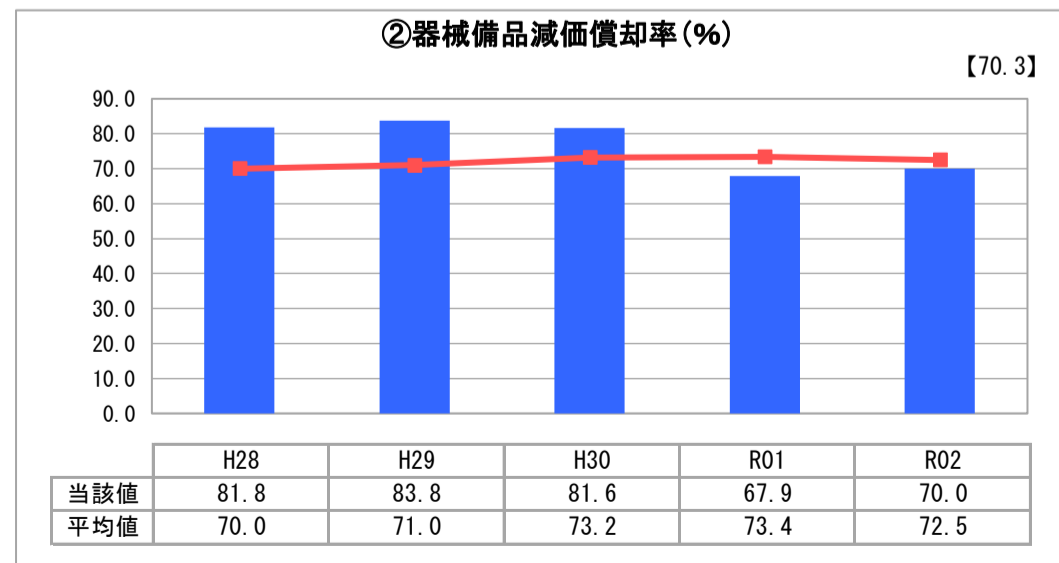
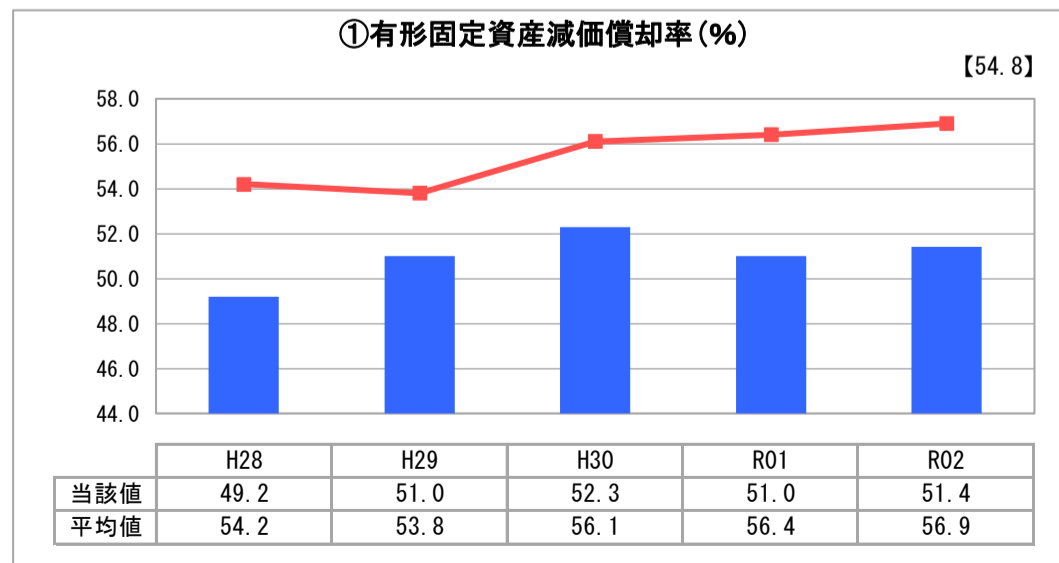
| 許可病床（一般） | 許可病床（療養）  | 許可病床（結核）    |
|----------|-----------|-------------|
| 88       | -         | -           |
| 許可病床（精神） | 許可病床（感染症） | 許可病床（合計）    |
| -        | -         | 88          |
| 稼働病床（一般） | 稼働病床（療養）  | 稼働病床（一般+療養） |
| 88       | -         | 88          |

| グラフ凡例 |              |
|-------|--------------|
| ■     | 当該病院値（当該値）   |
| —     | 類似病院平均値（平均値） |
| 【     | 令和2年度全国平均    |

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

| 再編・ネットワーク化 | 地方独立行政法人化 | 指定管理者制度導入 |
|------------|-----------|-----------|
| -          | -         | -         |
| 年度         | 年度        | 年度        |

## I 地域において担っている役割

公立病院として民間医療機関で担えない政策医療及び不採算医療並びに今後の高齢化の更なる進展など地域の将来の状況を見据えた場合に必要な医療機能を担うとともに、圏域内において地域医療の中核的な役割を果たしている県立日南病院との機能分担を図る。これを基本に次のとおり病院機能を担う。

- (1) 回復期リハビリテーション医療機能
- (2) 在宅医療支援及び連携拠点機能
- (3) 救急医療機能
- (4) 公衆衛生活動
- (5) 研修医等育成機能
- (6) 専門診療機能（糖尿病等）

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率については、100%を上回り単年度黒字となったが、コロナ対策に係る補助金等によるものである。  
 ② 医業収支比率については、類似病院、全国平均を上回ることはできたが、コロナ対策に係る補助金等によるものである。  
 ③ 累積欠損金については、類似・全国平均より低い状態ではあるが、ここ数年微増傾向にある。  
 ④ 病床利用率は、類似団体の平均は上回っているが、コロナ禍の影響で元年度を下回った。  
 ⑤ 外来者収益については、類似病院を下回っており、2年度は上昇したものの、更に詳細な分析が必要である。  
 ⑥ 材料費対医業収益比率については、類似・全国平均を下回っており、診療内容によるものと思われる。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率については、類似・全国平均ともに下回っているものの、今後は、長寿命化を図りつつ、将来計画を定める必要がある。  
 ② 器械備品については、類似・全国平均とほぼ同等であり、優先順位に基づき更新を図った効果だと推測される。  
 ③ 1床あたり有形固定資産については、類似・全国平均を大きく下回り、将来の方向性を定める必要がある。

## 全体総括

令和2年度決算においては、コロナ禍による、コロナに係る補助金等により、病床利用率は前年を下回ったが単年度黒字を計上した。  
 今後は、長引くコロナ禍により、入院患者などの不安定な患者の動向、医師不足による診療体制や施設の維持管理のための経費の増加、老朽化による施設等更新及び会計年度任用職員制度等による給与費の増が予想され、更に支出は増加する見込みである。  
 しかしながら、経営安定に向け、収益の確保、医師確保、業務体制見直しによる給与費の抑制などによる新たな対策により、まずは、累積欠損金などを減少させ、経営健全化を図る。一方で、救急医療、へき地医療などの不採算医療、公衆衛生活動などは、公立病院としての責務であることから、県立日南病院との役割を明確化し、今後も担う必要があることから、適正な一般会計繰入金の会計負担を財政当局と調整する必要がある。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。